

週間感染症情報

2018年14週 2018年4月2日より2018年4月8日まで

麻疹		春休みがあり感染症は少なく、小児科外来はヒマです。インフルエンザ報告数は21例とさらに減少しました。
風疹		15週は、4/12までに A型 6例 B型 10例(臨床診断を含む)の計16例でした。インフルエンザBは10例の内、9例が同じ市内保育園児で、小流行があります。また、外国帰りの夫より感染した症例の報告もあります。
水痘(みずぼうそう)		
ムンプス(おたふくかぜ)	1	発熱患者を診た場合、周囲の同様の発熱患者の有無を確認して必要なら、インフルエンザを疑う事が必要です。
百日咳		沖縄で麻疹の流行が起こっています。
溶連菌感染症	9	3月20日に、台湾からの旅行者が麻疹と診断され、その後4月11日までに38例の報告があります。
手足口病		直接接觸歴のない、0歳児や小児の麻疹患者が報告されております。麻疹は、感染力の強い重症の感染症です。
ヘルパンギーナ		特別な治療法はなく、命にかわる重症の合併症(脳炎など)を起こします。日本はH27年3月にWHOより麻疹排除国と認定されました。しかし、その後も、外国から持ち込まれた麻疹が報告されています。
伝染性紅斑		
感染性胃腸炎	26	個人では、ワクチンを2回接種する事により発症を予防できます。また、ワクチン接種率を95%以上に保つ事により流行を予防でき、0歳児やワクチン接種のできない人たちを麻疹から守る事ができます。
ロタウイルス(再掲)	1	世界では2016年の1年間におよそ9万人が麻疹で死亡したという推計が報告されました。
便アデノウイルス(再掲)		海外では麻疹が流行している地域もあります。
突発性発疹		海外旅行の前に、MR(麻疹・風疹)ワクチンを接種しましょう。
伝染性膿痂疹(とびひ)	1	1歳児と年長さんはMRワクチンを定期接種で無料でできます。
ヘルペス性口内炎		1歳のお誕生日に、また、年長になたらすぐに接種しましょう。
アデノウイルス感染症	2	1歳以上であれば、任意でMRワクチンを接種することができます。
RSウイルス感染症		中学校の修学旅行は沖縄です。生徒を含め職員のかたは
マイコプラスマ感染症		ワクチン接種歴を確認して下さい。
インフルエンザ(臨床診断含む)	21	
インフルエンザA	13	
インフルエンザB	7	(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 http://miyaiinsoja.webmedipr.jp/)
ヒトメタニューモウイルス		三宅内科小児科医院 三宅真砂子

